

「敬老回数券」の利用例

ケース１：主に均一運賃区間の市バスを利用する場合

	最大	利用頻度が少ない場合
券種	共通券 230 円券×24 枚	共通券 230 円券×24 枚
回数券綴り 1 冊当たりの金額	5,000 円	5,000 円
交付可能な冊数	2 冊 (@5,000 円×2 冊= <u>10,000 円</u>)	1 冊 (@5,000 円×1 冊= <u>5,000 円</u>)
乗車可能回数	年 48 回 (月 4 回)	年 24 回 (月 2 回)
利用者負担 (半額)	5,000 円	2,500 円

ケース２：京阪バスと市バスを利用する場合

	京阪バス (250 円区間) と 市バス (230 円均一区間) を利用する場合	
券種	共通券 250 円券×11 枚	共通券 230 円券×11 枚
回数券綴り 1 冊当たりの金額	2,500 円	2,300 円
交付可能な冊数	2 冊 (@2,500 円×2 冊= <u>5,000 円</u>)	2 冊 (@2,300 円×2 冊= <u>4,600 円</u>)
乗車可能回数	年 22 回 (月 1～2 回)	年 22 回 (月 1～2 回)
利用者負担 (半額)	4,800 円	

ケース３：主に醍醐コミュニティバスを利用。時々、京阪バスを利用する場合

	醍醐コミュニティバス (全区間 210 円) と 京阪バス (250 円区間) を利用する場合	
券種	単独券 210 円券×11 枚	共通券 250 円券×11 枚
回数券綴り 1 冊当たりの金額	2,100 円	2,500 円
交付可能な冊数	3 冊 (@2,100 円×3 冊= <u>6,300 円</u>)	1 冊 (@2,500 円×1 冊= <u>2,500 円</u>)
乗車可能回数	年 33 回 (月 2～3 回)	年 11 回 (月 0～1 回)
利用者負担 (半額)	4,400 円	